



No.135

平成23年12月9日

# いえそん

## 議会広報



▲世界のウチナンチュ大会に参加した村出身者の交流会(平成23年10月13日)

● 9月定例会 歳入決算額の状況・目的別歳出決算額の状況	<b>2</b>
決算審査意見書	3
● 一般質問	4~8
● 議決の結果 1	9
● 議決の結果 2・意見書 燃油税制にかかる特例措置	10
● 意見書 北部地域における沖縄県救急医療用ヘリコプターの導入	11
● 議会の活動	12

いえそん No.135  
議会広報  
平成23年12月9日

発行／伊江村議会  
〒905-0592 沖縄県伊江村字東江前38  
TEL:0980-49-2924  
編集・印刷／(有)サンエス  
TEL:098-889-7421

## 議会の活動

---

**平成23年9月**

5日：議会広報特別委員会  
8日：議会運営委員会、議員全員協議会  
13~15日：第9回定期議会  
14日：名護市商工会との懇親会(議長)  
22日：西小学校校舎地鎮祭(議員)  
26日：伊江島カントリー総会(議長)  
27日：北部地区畜産共進会(議長、経済・公営企業常任委員会)今帰仁村



▲西小学校校舎地鎮祭

**平成23年10月**

6日：第23回ふれあう心やんばるの集い(議長)国頭村  
8日：やんばるの産業祭り(議長)名護市  
9日：西崎区民俗芸能発表会(議員)  
11日：和牛改良組合総会(議長)(経公常任委員)  
13日：世界のウチナンチュ大会伊江村交流会(議長・副議長・総務常任委員長)那覇市  
17日：飲酒運転根絶県民大会(議長)浦添市  
18日：経済・公営企業常任委員会所管事務調査(21日まで)福島県・茨城県・千葉県  
20日：人工透析検討委員会(議長)  
22日：村立3保育所合同運動会(議員)  
23日：老人・婦人運動会(議員)  
24日：町村議長会定期総会(議長)那覇市  
副議長研修会 那覇市  
25日：町村議會議員研修会(議員)那覇市  
26日：総務常任委員会所管事務調査(28日まで)兵庫・徳島県



▲経済公営企業常任委員会所管事務調査  
(平成23年10月18日~21日)

**平成23年11月**

1日：県畜産共進会(議長・経済・公営企業常任委員会)糸満市  
9日：防火デー式(議員)  
10日：堆肥センター起工式(議員)  
11日：第11回臨時議会  
12日：伊江村産業祭り(議員)  
13日：表彰式、西崎区民俗芸能発表会(議員)  
15日：離島振興市町村議會議長全国大会(議長)東京  
16日：町村議會議長会全国大会(議長) 東京  
17日：北部議長会視察研修20日まで(議長)上海  
22日：第12回臨時議会  
TPP交渉参加阻止・さとうきび政策確立農業代表者会 那覇市  
(議長・総務常任委員長・経済・公営企業常任委員長)  
24日：防風林の日(議員)  
26日：離島フェア(議長・総務常任委員会)  
27日：郷友会運動会(議員)那覇市  
29日：議会広報委員研修会(広報特別委員会)那覇市



▲総務常任委員会所管事務調査  
(平成23年26日~28日)



▲11月:産業まつり

議会中継  
やっています!

役場庁舎1階、各区公民館、  
3学校など、村内の公共施設に設置されたパソコンや  
テレビで議会(定期会のみ)  
のライブ中継をご覧いただけます。

**伊江村議会HPで  
最新情報を!**

この紙面に掲載された一般質問や質疑応答の内容は、会議録に基づいて一部を要約したもののです。

さらに詳しく知りたい方は、各区公民館、中央公民館、村議会HPで会議録をご覧ください。

<http://www.iejima.org/iegikai/>  
(伊江村のホームページからもアクセスできます。)

## 平成23年第9回9月定例会

### 一般会計

財政運営は、一般会計で初めての赤字決算となつたが、これは22年度完了予定の北部特別振興対策事業（黒糖工場）の事故繰越に伴う国庫補助金の年度内未収入に起因する。同件については新年度に入金されており、統計上の一過性のもので後年度に支障をきたすものではない。

一般会計においては、諸事業が計画どおりに執行され、一定の成果を納めたことは評価できるが、村税で2,813万6,636円の滞納額、66万8,553円の不納欠損額、村営住宅使用料で1,369万2,600円の家賃収入未済額があることは誠に遺憾である。自主財源の確保は最大の課題であり、村民の納税意識の啓蒙と職員の縦横の連携、意識の高揚を図り、更なる徴収に最善を尽くすよう強く望む。

### 診療所

歳入決算額は1億9,154万2,240円に対し、歳出決算額は1億4,443万9,701円で実質収支4,710万2,539円の大幅増を計上した。努力の跡が見られ高く評価するものである。しかし、黒字決算であるものの一般会計繰入金が4,500万円あり、実質単年度収支は1,814万5,684円の赤字となり、依然厳しい運営である。

村民のニーズに合った医療体制の確立と医師の2人体制を堅持し、村民の健康維持に特段の努力を望む。

### 国保特別会計

歳入決算額10億6,897万6,778円、歳出決算額9億8,314万5,112円、差引8,583万1,666円となっている。繰入金1億6,699万円、繰越金3,147万2,122円で、単年度収支5,435万9,544円となり、実質単年度収支は3,724万7,544円となっている。保険税の増額は厳しい状況にあり、毎年多額の繰入を余儀なくされている。今年度は不納欠損109万7,771円が処理されており、滞納額が年々増えており、国保税の徴収には遺漏なきよう一層の努力を望む。

### 老人保健特別会計

今年度の当会計は法改正に伴う平成22年度までの経過措置であり、歳出総額811万8,057円はすべて諸支出金（償還金及び繰出金）となっている。

## 決算審査意見書より

伊江村監査委員

議選監査委員

島袋

忠治

### 後期高齢者医療特別会計

歳入決算額5,538万8,893円、歳出決算額5,320万5,897円で、実質収支額は218万2,996円となっている。

### 水道事業会計

22年度末で8基金が設置されている。各基金とも運用の目的に従って適正かつ効率的に運用され計数も正確である。

### 基金運用状況

自己水源の取水量の推移を検証すると、平成8年度以降、前年度は最も少ない73,998m<sup>3</sup>となった。とりわけ自己水源の9割を占める湧出水源が前年の63,913m<sup>3</sup>から当年度152,097m<sup>3</sup>で88,184m<sup>3</sup>（138%）と増加しており、降雨量により高下することが歴然となっている。

また、無効水量が20年度以降高い数値で推移している。漏水対策は今後の大きな課題で、老朽管の改修対策を講じる必要がある。今後とも安全で安心な良質な水を安定供給できるよう施設の維持管理、特に漏水防止対策を強化し、無効水（率）の改善に一層の努力で健全運営を図るよう切望する。

### 船舶運航事業

本船舶運航事業は、昭和54年度以降連續黒字決算を維持している。平成21年3月に燃料高騰の懸念から運賃の改定を実施したが、懸念した程燃料の上昇がなかったことが、増収につながっている。

旅客運送は478,992人で対前年度比1,846人（0.4%）の増とほぼ横ばいである。車両航送は、78,829台で対前年度比636台（0.8%）の増となっている。

純利益は過去最高だった前年度の1億7,186万9,108円から、当年度は1億6,844万4,340円で、前年度比342万4,768円の減となった。

現在の厳しい経済財政の下、今日まで黒字決算となったことは、職員・船員及び関係者の努力によるものであり評価できる。今年度内に、新造フェリーも完成することから、島外からの乗り入れ増に期待したい。

これからも適正な運営計画と財政計画のもと、村民の足としてサービスの向上と安全運航を望む。

### 【平成22年度決算】

平成23年第9回（9月）定例会を、9月13日～15日までの3日間の会期で開きました。

本定例会では、平成22年度各会計の決算認定や平成23年度一般会計及び特別会計補正予算案など25件の議案を審議しました。（審議結果は9ページをご覧ください。）

また、開会初日には一般質問が行われ、5人の議員が村の対応や考えをといただきました。

平成22年度決算に認定あたっては、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、付託された各会計決算の議案について、慎重に審査を行いました。

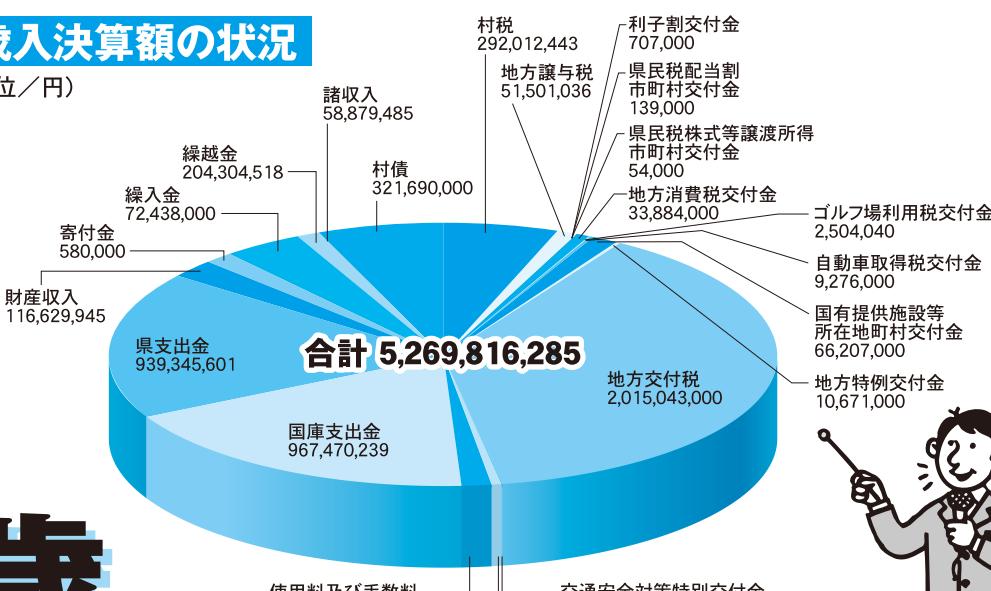
その結果、付託された7決算案はすべて認定すべきものと決定されました。

### 平成22年度 会計別決算状況 単位:円

会計名	決算額 A歳入	決算額 B歳出	翌年度繰越額 C	実質収支 A-B-C	収入未済額
一般会計	52億6,981万6,285	55億9,242万750	2億1,903万4,000	△5億4,163万8,465	20億4,051万3406
特別会計	診療所	1億9,154万2,240	1億4,443万9,701	4,710万2,539	170,340
	国民健康保険	10億6,897万6,778	9億8,314万5,112	8,583万1666	2,392万533
	老人保健	915万1470	811万8057	103万3413	
	後期高齢者医療	5538万8,893	5320万5,897	218万2996	
	水道事業	1億3993万2,525	1億2931万9,016	1061万3509	
	船舶運航事業	6億1669万9,932	4億4825万5,592	1億6844万4,340	
合計	73億5150万8,123	73億5890万4,125	2億1,903万4,000	△2億7510万4,124	20億6468万4279

### 歳入決算額の状況

（単位／円）

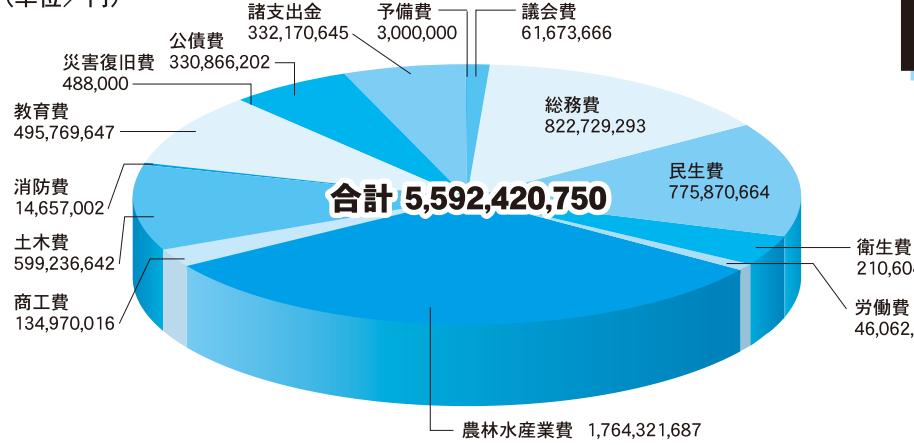


# 歳入 53 億 円

### 歳出 56 億 円

### 目的別歳出決算額の状況

（単位／円）



（7会計を認定）



# 村政の9月定例会一般質問

## ここを問う！

### 出産待機時の宿泊料助成制度の やるやかな実施について

福祉保健課長／「妊婦の身体的状態や  
その他事情」の周知を図りたい

平成19年度から本村において、出産待機時の宿泊料助成制度が実施されているが、第1条の目的で「村営船舶が台風や、時化等気象状況により通常の運航が危惧される場合」と「妊婦の身体的状態やその他の事情」となつており、助成の対象が「台風や時化の時」となっているが、お産前になると台風や時化とは関係なく一時的な陣痛や、他の状態によつては再度、島に帰つてくることもある。さらに、その他の理由により前もつて、本島に渡つておかなければならぬ等々、台風や時化のみならず宿泊を余儀

島袋 義範 議員



本村復興に向けて、昭和24年頃から村内一周道路を皮きりにウカバ周辺、昭和26年に青少年旅行村の防風、防潮林としてアダン、以降モクマオウやフクギなどが植付けされた。これまで幾度となく襲来した台風に耐えたその効果は大きなものがある。し

かしながら60余年が経ち、枯死した状態のモクマオウが目立ち、今年に入つてから相次ぐ台風の襲来により樹木が倒壊し株間が大きく開いている。今年に入つてからの台風によるモクマオウの倒伏で、更にモクマオウが失われてきている。今年に入つてから春樹間に改善するため冬から春にかけて補植をし、年次的に植林をしていきたい。

青少年旅行村の防風林については、モクマオウが主要林をなしており、これまでの台風で多くのモクマオウが失われてきている。今年に入つてからの台風によるモクマオウの倒伏で、更にモクマオウが失われてきている。今年に入つてから春樹間に改善するため冬から春にかけて補植をし、年次的に植林をしていきたい。

今後の植林の樹木選定については、強風や潮害に強い樹木を、海岸沿いには成長の早いテリハボク、リハボク、クロキ、ハイビスカス等を植林する予定。また大会と連携しての旅行村の補植は時間的に厳しい状況である。内部で調整し計画的に補植をしたい。

これまでモクマオウも防風関係に対して非常に貢献したと思うが、一方で植付けをする作物に対して被害も出ている。今後においてはモクマオウにかかる品種の防風林についても検討していただきたい。

「防風林の日」の大会場所は、東江上カ

今年、場所的なものも考えて、今進めて

いる農地、防風林整備事業、現在は渡り地地区を進めていくが、これから東に行きゴルフ場まで取り組んでいます。今後、みんなの意見を取り入れながら、村の計画にのせていきたい。

防風林の問題につきましては、島全体をひとつの拠点地、観光地としての位置づけも図りながら、竹富町あるいは多良間村の御獄等、人の心の寄りどころを守る場所には必ず被害の少ない樹種が植えられている。伊江村もこういったことを考えていく必要があるので感じている。樹木の方向付けについては、一生懸命努力しながら今後の島の防風、防潮林対策に寄与していきたい。

伊江村出産待機時の宿泊料の助成制度は、平成19年度から施行され、平成22年度の実績は、利用者10名、助成額87,400円である。また、母子健康手帳交

付時には、保健師を交え妊婦の体調確認や各種助成制度の説明をしている。第1条の「妊婦の身体的状態やその他の事情」の中には、妊婦の体調の変化による宿泊助成も含まれているので、その事項の周知を図りたい。

第5条第2項で「助成の額は一泊につき4,600円とし2日間を限

性についてアンケートを実施する必要はない。

本村における幼稚園の教育については、幼稚園教育費を領取している標準教育時間の4時間から、昨年

度とする」とあるが、母体の調子によつては2日間ではすまない状況もあると聞いている。この、「2日間を限度とする」という項目を削除し、期間については限度を設げず助成の対象を広げてはどうか。

第5条第2項については、過去におけるフェリーフェリー欠航の実績にもとづき2日間と制定している。しかし、

本村における幼稚園の教育について、伊江村における今後

が立上げており、この検討委員会の中で預かり保育のあり方等を検討していく予定である。

政面の課題には、保育料などの経済的負担や私立学童とのかわり、財

近年は産子数も少なくなり、現在では両小学

校合わせて1学年50名未満と絶対的に児童生徒の数が減ってきている。それでも両幼稚園とも教論は2人制を維持し、教育の面から大変喜ばしい事だと思う。

反面、現在の子育て世代は親と同居ではない上、共稼ぎ世帯がほとんどだと思う。昨年まで幼稚園児の教育は午前中だつたが、平成23年度から幼稚園で週4回の給食、午後2時までの預かり保育が実現し子育て支援が一步前進したことを見評価している。しかし、午後2時以降の保育はなされていない。

伊江村における幼稚園の教育については、幼稚園教育費を領取している標準教育時間の4時間から、昨年

が立上げており、この検討委員会の中で預かり保育のあり方等を検討していく予定である。

月から週1回の給食実施と午後2時までの延長保育を試験的に導入し、さまざまな問題点を検証しながら、最終的に保護者のアンケートを実施、その結果を得て今年度から給食の導入と午後2時までの延長保育を実施するといふ。直ぐの実施が無理でも、他市町村の状況を調査すると同時に、村内でのその必要性についてお伺いする。

午後の預かり保育を実施するためには、保育料などの経済的負担や私立学童とのかわり、財

近年は産子数も少なくなり、現在では両小学

校合わせて1学年50名未満と絶対的に児童生徒の数が減ってきている。それでも両幼稚園とも教論は2人制を維持し、教育の面から大変喜ばしい事だと思う。

反面、現在の子育て世代は親と同居ではない上、共稼ぎ世帯がほとんどだと思う。昨年まで幼稚園児の教育は午前中だつたが、平成23年度から幼稚園で週4回の給食、午後2時までの預かり保育が実現し子育て支援が一步前進したことを見評価している。しかし、午後2時以降の保育はなされていない。

伊江村における幼稚園の教育については、幼稚園教育費を領取している標準教育時間の4時間から、昨年

が立上げており、この検討委員会の中で預かり保育のあり方等を検討していく予定である。

政面の課題には、保育料などの経済的負担や私立学童とのかわり、財

近年は産子数も少なくなり、現在では両小学

校合わせて1学年50名未満と絶対的に児童生徒の数が減ってきている。それでも両幼稚園とも教論は2人制を維持し、教育の面から大変喜ばしい事だと思う。

反面、現在の子育て世代は親と同居ではない上、共稼ぎ世帯がほとんどだと思う。昨年まで幼稚園児の教育は午前中だつたが、平成23年度から

## 村政の 9月定例会 一般質問

# 農業の振興について

農林水産課長／話し合いの場を設け、意見交換会を行いJAと連携し対策に備えたい

## 議決の結果

議案番号	件 名	概 要	議決結果
承認4号	専決処分した伊江村税条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて	地方税法等の一部改正に伴う条例改正	承認
報告第5号	平成22年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告の提出について	平成22年度の決算に関する報告	報告
議案第59号	伊江村手数料条例の一部を改正する条例	伊江村手数料条例の一部改正に伴う条例改正	原案可決
議案第64号	用水対策1号溜池工事(1工区)請負契約の変更について	契約方法:指名競争入札 契約金額(変更による増額分)26,267,850円 契約相手:有限会社金城土建・有限会社比嘉組・島幸建設 建設工事共同企業体	原案可決
議案第65号	用水対策1号溜池工事(2工区)請負契約の変更について	契約方法:指名競争入札 契約金額(変更による増額分)27,720,000円 契約相手:有限会社 真組・株式会社 輝男建設・山城電設 建設工事共同企業体	原案可決
議案第66号	伊江村公共用備品購入契約について	契約の方法:指名競争入札 契約金額:9,240,000円 契約相手:有限会社ザマミ	原案可決
議案第56号	平成23年度伊江村一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出98,290千円を追加し、歳入歳出総額7,272,690千円とする	原案可決
議案第57号	平成23年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出421千円を追加し、歳入歳出総額1,110,251千円とする	原案可決
議案第58号	平成23年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出47千円を追加し、歳入歳出総額58,266千円とする	原案可決
議案第60号	伊江村公平委員会の事務の委託に関する規約を定める協議について	事務の委託に関することについて	原案可決
議案第61号	伊江村暴力団排除条例の制定について	条例の制定について	原案可決
議案第62号	伊江村消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例	一部改正に伴う条例改正	原案可決
議案第63号	伊江村消防団員の定員、任免、服務に関する条例の一部を改正する条例	一部改正に伴う条例改正	原案可決
議案第67号	北部広域市町村圏事務組合規約の変更について	規約の変更に関することについて	原案可決
報告第6号	平成23年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	平成23年度の健全化判断比率及び資金不足比率に関する報告	報告
認定第1号	平成22年度伊江村一般会計歳入歳出決算の認定について	22年度一般会計の決算に関する認定	認定
認定第2号	平成22年度伊江村診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	22年度診療所特別会計の決算に関する認定	認定
認定第3号	平成22年度伊江村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	22年度伊江村国民健康保険特別会計の決算に関する認定	認定
認定第4号	平成22年度伊江村老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	22年度伊江村老人保健特別会計の決算に関する認定	認定
認定第5号	平成22年度伊江村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	22年度伊江村後期高齢者医療特別会計の決算に関する認定	認定
認定第6号	平成22年度伊江村水道事業会計決算の認定について	22年度伊江村水道事業会計の決算に関する認定	認定
認定第7号	平成22年度伊江村船舶運航事業会計決算の認定について	22年度伊江村船舶運航事業会計の決算に関する認定	認定
陳情第1号	県産品の優先使用について	県産品優先使用に関する陳情	採決
意見書第2号	燃油税にかかる特例措置に関する意見書	10ページ参照	原案可決
意見書第3号	北部地域における沖縄県救急医療用ヘリコプター導入に関する意見書	10ページ参照	原案可決

**問** 昨年12月から今年3月までの低温による作物の発育遅れと、3月11日に発生した東日本大震災による需要の低迷、さらに5月の台風2号の襲来による農作物への甚大な被害により、今、伊江村の農業は危機的な状況にある。特に葉タバコの被害は過去に例が無い規模のものであり、11戸もの農家が葉タバコ耕作をやめる事態になっている。また、東日本大震災後につくられたセーフティネット融資制度も、条件が厳しく、制度が活用できない農家が多数残されており、資金繰りに困っている状況である。そこでお聞きしたい。葉タバコ農家の廃業による遊休地が大量に出ると思われるが、村としてその対策は考へているか。

**答** 葉タバコ農家の廢作希望者が11名で合計面積約4,000アール、1名当たり約364アール、その中の小作面積が何アールあるかについては、聞き取り調査したいと思う。また、村としての対策は、農家の皆様と話し合いの場を設け、意見交換を行い、JAと連携し対策に備えたいと思う。

村が借入金の利子分を助ける事業である。農家の立場は手続きが難しいといつてもあつたが、説明会等にて、金融公庫・JAと連絡の際、条件に該当しないものもある。その場合はどのJAと調整を行い確認もしている。また、早めに手続きをするように呼びかけもしている。

答 10名ほど申し込みされてるが、その状況は大変厳しいと。申請のために名護行かされたりJAに行かされたりと、たらいまわしのようなこともあつたと聞いてる。そこでJAの職員に確認した。基本的に確定申告書が基準となり、この手続きを行うが、そこに借金があると該当しないということになつた。ただし再度、未確認の部分も農協としてあると思うので再確認を行いたいと思う。

はないとのこと。伊江村第4次総合計画が策定されたとのことだが、災害を見越した対策にはなっていない。今後、相当な面積が転作されるという事態を受け、行政・農協・販売する市場も含めた協議会等をつくり、新たな農業振興策をつくる必要があるのではないかと思う。今後は1農家多品目の経営をしていかなければいけないのでないかと考へる。

答 農林漁業セーフティネット資金について  
ネット資金については

問 潟害に強い作物を地域挙げて  
この協議会も含めて検討したいと思う。

受けているということだが、おきなわの花については震災から半年以上もたつが、まだ融資を受けられていない農家もある。借金があるためこれがネックになり、セーフティネット資金の融資が受けられないという方もいる。融資されないという方に対しても、融資を行えるように行政の方から働きかけるべきではないかと思うが。

## 《北部地域における沖縄県救急医療用ヘリコプターの導入に関する意見書》



北部地域は沖縄本島の約50%の面積を有し、医療過疎地が散在するなか、伊江村・伊是名村・伊平屋村の離島を抱え救急医療体制の充実が強く求められているところあります。

本地域においては、医師や看護師の不足から、県立北部病院の産婦人科や内科等で診療制限が行われるなど、住民を取り巻く医療環境は悪化の一途をたどっており、県内における地域医療格差の解消を図ることは、極めて重要な課題となっております。

特に離島・過疎地域における救命率の向上に向けた救急医療体制の確立は、喫緊の課題であります。

本地域では、平成19年6月より民間が救急ヘリコプターを導入し、多くの実績があげられ、また、平成20年12月には沖縄県による救急医療用ヘリコプターが浦添総合病院に導入され、救命率の向上と後遺症の軽減が図られたことはすでに明らかであります。

しかしながら、民間救急ヘリコプターは継続・運営は厳しい状況にあり、その実績を踏まえると、救急事案の重複は避けられないことから、北部地域住民は不安を抱えているところであります。

つきましては、北部地域の医療体制の改善を図るとともに中南部地域との医療格差をなくし、安心して暮らせるように、沖縄県救急医療用ヘリコプターの2機目を北部地域に導入していただき、救急医療体制の充実・強化に向けて、特段の配慮を賜りますよう要請いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年9月15日

沖縄県伊江村議会

沖縄県知事 仲井眞 弘多 殿

## 議決の結果

平成23年第7回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
意見書1号	米海兵隊・垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの普天間飛行場配備計画と伊江島補助飛行場での同機の訓練計画の撤回を求める意見書(案)	議員	2011.6.28	原案可決
決議書5号	米海兵隊・垂直離着陸輸送機MV22オスプレイの普天間飛行場配備計画と伊江島補助飛行場での同機の訓練計画の撤回を求める抗議決議(案)	議員	2011.6.28	原案可決

## 議決の結果

平成23年第8回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案第52号	西小学校校舎(西幼稚園園舎)改築・併行防音工事(建築) 請負契約について	村長	2011.8.8	原案可決
議案第53号	西小学校校舎(西幼稚園園舎)改築・併行防音工事(電気) 請負契約について	村長	2011.8.8	原案可決
議案第54号	西小学校校舎(西幼稚園園舎)改築・併行防音工事(機械設備) 請負契約について	村長	2011.8.8	原案可決
議案第55号	平成23年度伊江村一般会計補正予算(第3号)	村長	2011.8.8	原案可決

## 『燃油税制にかかる特例措置に関する意見書』

漁業においてはコストに占める燃油のウェイトは極めて大きいことから、我が県の漁業は、かねてから魚価下落に加えて燃油高騰が継続する中、ここ数年で急速に疲弊した。さらに追い打ちをかけるように今回、東日本大震災の大打撃に加え原発事故の風評被害にも見舞われ、漁業経営はより深刻の度を深めている。

このような中、県民に対する水産物の安定供給とともに、これを不可欠の前提となる漁業者の経営の安定を維持するために、国会及び政府におかれては、漁船用軽油にかかる軽油引取税の免税をはじめとする、以下の燃油税制にかかる特例措置を要望する。

記

- 一. 漁船に使用する軽油にかかる軽油引取税の免税措置について、恒久化すること。
- 二. 農林漁業用A重油にかかる石油石炭税の免税・還付措置について、恒久化すること。
- 三. 地球温暖化対策税については、漁業者の負担が一切免ることのないよう万全の措置を講じること。とくに燃油への課税についてはA重油に限らず、軽油も含めて油種にかかわらず負担増を回避するよう措置すること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成23年9月十五日

あて先  
●衆議院議長  
●農林水産大臣  
●参議院議長  
●総務大臣  
●内閣総理大臣  
●沖縄県伊江村議会

沖縄県伊江村議会